



若松海保だより



本号では、今年6月から8月に実施した若松海上保安部の業務の一部を紹介させて頂きます。
コロナ第七波により、中止や延期となった業務もありますが、海水浴など海のレジャーシーズンに向けて様々な取り組みを行いました。

一友の会との交流イベント

昨年10月30日に巡視艇による洞海湾クルーズなどを開催したところ、会員の皆様に好評を頂きました。

引き続き、今年2月に第七管区海上保安本部北九州航空基地(北九州空港)の見学会を計画したところ、コロナ禍により延期の憂き目に遭い、6月5日(日曜)に開催の運びとなりました。

当日は会員20名が参加され、航空機の展示のほか、ヘリコプターによる救助活動の訓練を見学し、業務説明を受けた各会員から「貴重な経験ができ、職員の皆さんと交流が出来て楽しかった。」と感謝のお言葉を頂きました。

今後もこうした交流イベントを企画致しますので、遠慮なくご参加頂くとともに、身近に当庁にご興味のある方がおられれば入会の勧誘をお願い致します。



ヘリの吊り上げ救助を体験する会員



若松海上保安部長安里匡のご挨拶



記念撮影



ヘリコプターによる救助訓練

二 北九州市との包括連携協定

海上保安部と北九州市、それぞれが持つ技能、知識、人材、体制、情報等を有効活用し、様々な分野で緊密に相互連携することにより、市民のより一層の安全と安心を向上させることや、地域の発展に資することを目的として、令和3年3月に包括連携協定を締結しました。具体的には、

- ・ 市民の海上における安全
 - ・ 人命救助、防災についての連携強化
 - ・ 社会学習に青少年の育成
 - ・ 灯台の利活用
- について連携して実施しています。

市民センター136カ所に安全啓発用リーフレットを配布しました。



7月17日 玄海青年の家
海上安全教室として小中学生24名に海中に転落した場合の対応、救命胴衣の着用方法などを指導しました。



救命胴衣の着用方法



7月22日 県立八幡中央高校
出前教室として公務員志望の2、3年生15人に同校の公務員ガイダンスに合わせて、当庁の業務、採用試験要項などを案内しました。





巡視艇で洞海湾クルーズ



巡視艇船長へ敬礼！



空気呼吸器の使い方



制服試着

8月1日 生き生き子供講座（二枝市民センター）
若松海保庁舎、巡視艇にて小学生10名に職場体験として海上保安官の仕事を経験して頂きました。



海上保安官の仕事を紹介



仕事のやりがいを語る

7月12日 「夢授業」市立永犬丸小学校
警察官や建築士など様々な職業人とともに「夢授業」に参加して6年生95名に海上保安官になったきっかけ、仕事のやりがい、辛かった経験などを語りました。
※「夢授業」とは、一般社会で楽しく、熱心に働く様々な職業に就く大人（職業人）たちが学校に集まり、「仕事のやりがい」や「働くよろこび」について子供たちと対話するプログラムです。

三海の事故ゼロキャンペーン

毎年7月16日～31日の間、「海難ゼロへの願い」をテーマに海の事故ゼロキャンペーンとして、

- ・テレビ、ラジオを活用した広報
- ・海水浴場のパトロールを通じた指導
- ・小中学校での海上安全教育を実施しています。

7月1日ケーブールテレビJ:COMの「LIVEニュース」(毎日11:00から生中継)に出演し、波津海水浴場から海の危険性や事故防止、マリンスレジャーにおける注意点を広く訴えました。



海水浴場シーズン前に、波津海水浴場監視員へ救命講習を実施しました。



海水浴場監視員に人工呼吸を指導する若松海保職員

8月7日 日曜日に水上バイクコーナーへ遊泳者とのトラブル防止とマナー向上を啓発しました。



7月31日 家族連れで賑わう日曜日に若松・折尾警察署と合同で管内の海水浴場をパトロールして水難事故防止を呼び掛けました。



啓発グッズを配付する若松海保職員

四 関係機関との連携

突発的に発生する災害や事故に迅速に対応して人の生命と財産を保護するためには、関係機関との綿密な連携が不可欠です。若松海上保安部では、合同訓練を実施して警察などとの関係機関との連携を強化しています。

7月26日 若松・戸畑警察署と合同訓練
 くきのうみ花火大会(悪天候により中止)に備え、見物客が海へ転落した想定で救助訓練を実施しました。



溺者役を演じる若松海保職員



巡視艇

溺者

遠賀消防の水上バイクによる溺者救助



巡視艇

溺者

芦屋小安協所属船による溺者救助



海保ヘリコプターによる溺者救助

救助員

溺者

7月30日 官民合同沿岸海難救助訓練(芦屋港)
 遠賀郡消防本部、芦屋地区小型船安全協会と合同訓練を実施しました。



事故現場へ急行する巡視艇



巡視艇から放水消火

6月7日 三菱ケミカル黒崎事業所総合防災訓練
 タンカーから海上へ重油が流出したとの想定で、関係機関との合同訓練が実施され、巡視艇などが参加しました。
 洞海湾には多くの危険物取扱企業が立地しており、日頃からの連携が重要です。

五 学生募集（職員採用）

昨今の少子化による若年層人口減少により、優秀な人材を採用することが我々海上保安庁にとって重要な課題となっています。

若松海上保安部では、年間を通じて管内の高校、高専、大学を訪問して積極的に学生募集活動（職員採用）を実施しています。

海上保安官は海上での法令執行など特殊な任務を遂行するため、警察官や消防士と同様に初任教育が必要であることから、職員の採用試験は、幹部職員を養成する**海上保安大学校**（広島県呉市）、又は中堅職員を養成する**海上保安学校**（京都府舞鶴市）への学生募集という体裁になっています。会員の皆様におかれましても、ご家族やご近所に海上保安官を熱望している方、公務員を希望している方などがおられましたら、ご案内して頂けると幸いです。

希望者があれば、少人数であっても職場（巡視艇）見学、業務内容や採用試験などを説明する機会を可能な限り提供致します。



7月中に管内の高校、大学計16校を訪問してポスター、募集要項を配付



海上保安庁特設コーナー（折尾図書館）

市立図書館に「海上保安庁特設コーナー」開設
学生募集活動の一環として、海上保安協会洞
海支部の支援を得て、海上保安庁関連の書籍を
購入して管内の図書館（戸畑、折尾、若松）へ寄
贈しました。
より多くの来館者の目に触れて頂けるように、
図書館側へ「海上保安庁特設コーナー」の設置を
お願いしたところ、期間限定で快諾して頂き、入
口付近の目立つ場所に開設（9月中）して頂きま
した。
皆様もご来館の際には、ぜひお立ち寄りくださ
いませ。

六 イベント予定

若松海上保安部が企画・参加する一般市民対象のイベントを次のとおりお知らせします。

- 一 白洲灯台フェスティバル⑤小倉城
日時：10月30日(日)午前9時
場所：小倉城
詳細は末尾に添付した案内をご覧下さい。
- 二 若戸大橋開通60周年記念協賛「巡視船きくち一般公開」など
日時：10月23日(日)
場所：若松公共岸壁(若松駅の海側)

注意：海難発生等により中止となる場合があります。



巡視船きくち (PM26)
船型：350トン型巡視船
所属：門司海上保安部
全長：56m
総トン数：335トン
就役：平成21(2009)年2月

七 海事功労者の表彰

多年にわたり海上保安協会役員として海上保安思想の普及事業などを推進し、海上保安業務の発展に尽力した功績により、第七管区海上保安本部長から次の二名が表彰され、7月22日に若松海上保安部長安里匡から感謝状を伝達しました。

- 一 第一港運(株) 代表取締役社長 岡部 太郎 氏
- 二 矢野海運(株) 代表取締役社長 矢野 功太郎 氏



矢野海運株式会社
矢野 社長



第一港運株式会社
岡部 社長

編集後記

今号より編集を若松海上保安部次長倉田主税が担当します。
今年6月初旬に着任したばかりで、前職はJICA(国際協力機構)長期専門家として令和元年6月からフィリピン・マニラに三年間駐在してフィリピンコーストガード(沿岸警備隊)の能力向上を支援しました。中国の海洋進出に翻弄されながらも中国の経済とワクチン援助に頼らざるを得ない小国フィリピンの憂き目を垣間見つつ、南国特有の何事も樂觀するスローな生き様に魅了されました。
若松での勤務は二度目で、約30年前(平成元年～三年)の20歳代に二年間勤務しました。当時は本町アーケード街に空き店舗はなくて賑やかだっただけに、時代の流れを寂しく感じています。



職名：若松海上保安部次長
官職：海上保安官
氏名：倉田 主税(ちから)
階級：三等海上保安監



JAPAN CULTURAL EXPO

心を、うごかそう。
Art Moves Us All.



令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト

白洲灯台 フェスティバル in 小倉城

150th ANNIVERSARY

～岩松助左衛門翁没後150年～

10/30日

〔 展示物は
10/29日～11/6日 〕

● タイムスケジュール ●

09:00 イベント開始

10:00 岩松助左衛門翁顕彰碑前にて講話
★雨天時は小倉城5F
(岩松助左衛門翁顕彰会)

11:00 小倉城5Fにて紙芝居(第1回)
(岩松助左衛門翁顕彰会)

13:00 岩松助左衛門翁顕彰碑前にて講話
★雨天時は小倉城5F
(岩松助左衛門翁顕彰会)

14:00 しろテラスにてフォトコンテスト表彰式
(若松海上保安部)

15:00 小倉城5Fにて紙芝居(第2回)
(岩松助左衛門翁顕彰会)

16:00 イベント終了

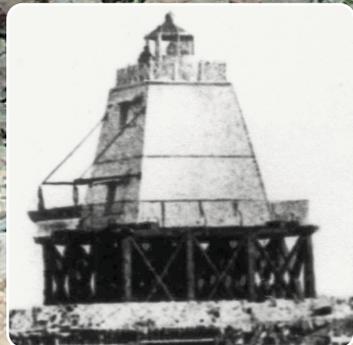
★展示物は小倉城営業時間と同様に朝9時から夜8時まで観覧できます。
(※なお、小倉城入館には入城料が必要です。)

小学生以下対象
10/30日のみ **スタンプラリー**

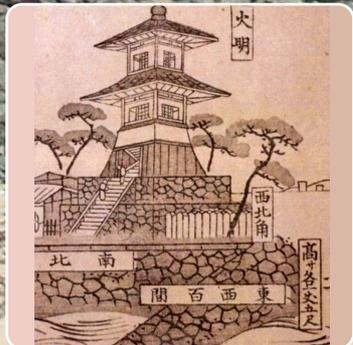
クイズに答えて、スタンプをコンプリートしたら、
記念品がもらえるよ。朝10時からしろテラスより
スタートできます。(1人1回)

11/6日のみ **展示説明会**

11/6(日)10:00～、14:00～の2回、北九州市立自然史・
歴史博物館学芸員による1F展示物説明会を行います。



初代灯台完成写真



岩松助左衛門が建設予定の灯台(未完成)



白洲灯台の要目

- 所在地：北九州市小倉北区藍島白洲
- 初点灯：明治6年9月1日
- 灯質：単閃白光「毎4秒に1閃光」
- 光達距離：7.5海里（約14km）
- 灯高：16.0m（平均水面～灯火）
- 灯塔：上部鉄造下部石造
- 機器：LED灯器 太陽電池装置蓄電池

白洲灯台

藍島
白洲

北九州市 ・長浜

北九州市小倉北区藍島南西約2.5kmに位置する岩礁に建てられた白洲灯台は、およそ200年前、この岩礁付近で難破する船が後を絶たないことを案じた、当時の長浜浦（現北九州市小倉北区長浜町）の岩松助左衛門が同灯台建設の必要性を訴え、自身の私財と一命を投げ打って1862年に建設が開始されました。数々の困難を乗り越え、灯台の土台が完成したところで助左衛門は亡くなり、工事はその後、明治政府に引き継がれました。

助左衛門が亡くなった翌年の1873年にブラントン設計の初代木造灯台が完成し、初めて灯がともされました。1900年に鉄及び石造りの灯台に改築され、現在まで助左衛門の魂とともに航海の安全を願いつつ、光を灯し続けています。

★小倉城1F展示コーナーでは灯台のパネルや岩松助左衛門ゆかりの品々を展示しています。郷土の名士の偉業に思いを馳せて、是非、ご覧ください。

- 主催 若松海上保安部
北九州市
全国近代化遺産活用連絡協議会
独立行政法人日本芸術文化振興会
文化庁
- 協賛 (公社)西部海難防止協会
TEAM城下町小倉共同事業体
岩松助左衛門翁顕彰会
(株)藤屋
サマユ株式会社
- 後援 (公財)海上保安協会洞海支部
監修 北九州市立自然史・歴史博物館



うみまる ©JCGF うーみん

©小倉城マスコットキャラクター
とらっちゃん、北九州市